

# ニューヨーク州英語学習課程 英語学習児童生徒保護者説明会ビデオ台本

ニューヨーク州教育省  
「二カ国語教育・世界言語」局並びにニューヨーク州教育委員会

## ニューヨーク州児童生徒用英語学習課程

ニューヨーク州公立学校によろこそ。ニューヨーク州には二百六十万人の児童生徒がいます。そのうち、二十一万四千人以上が英語を学習しています。これらの児童生徒は英語学習児童生徒、学校内では ELL、あるいは多言語学習児童生徒とも呼ばれています。私たち公立学校の組織では、多種多様な言語を母国語とする家庭からなり、その言語の数は二百以上にのぼります。

この様な状況に対応する為、ニューヨーク州は「二カ国語教育・世界言語」局を設立しました。

この「二カ国語教育・世界言語」局の使命は、英語学習児童生徒が語学に堪能になり、最高の学業を修め、州の定める基準を確実に満たすようにする事です。私達は、児童生徒一人ひとりの教育上の進路及び社会的情緒性の養い（やしない）を多国語で満たし、大学進学もしくは就職準備に結びつけるよう努力しております。

児童生徒全員は、高校を卒業し、大学進学や就職に対処する教育を受けるべきであると私達は信じています。

情報に通じた保護者は児童生徒の最高の擁護者です。「二カ国語教育・世界言語」局は、お子さんに学校として何が出来るかという情報を保護者の皆さんにお届けできるように努力しております。

お子さんは英語能力テストを受け、英語学習児童生徒と認定されました。この英語学習児童生徒とは、第一言語又は母国語が英語ではなく、英語学習の支援を学校で受ける資格がある児童生徒を意味します。

ニューヨーク州の公立学校は、総合学区域で利用できる色々な英語学習課程について保護者に知らせる為、新しく就学する英語学習児童生徒の家族を対象とする説明会の開催を義務付けられています。説明会では課程と規準についての資料や情報、そして英語学習課程に関して母国語あるいは第一言語に翻訳された資料を受取ります。必要であれば英語学習課程について質問もできます。この説明会は、お子さんが受ける英語学習授業について保護者の理解を深める良い機会となります。

英語学習児童生徒として、お子さんは学業上での支援を受け、また母国語あるいは第一言語で英語を学習する権利があります。

毎年春に、お子さんは英語力の評価テストを受けます。英語習得の度合いを、聞き取り、会話、読解、作文の分野で評価します。このテスト結果で、お子さんが英語学習児童生徒として認定を継続されるかどうかを決め、また認定を継続される場合には、お子さんの受ける支援の量や授業時間数が決まります。これらの詳しい情報の取得は学級担任に尋ねてください。

ニューヨーク州の、英語を習得し二カ国語を話すバイリンガルの学習課程について見てみましょう。

一般的に、二種類の学習課程が利用できます。いずれの場合でもお子さんは最高の学業を修め、高校を卒業し、将来に向けて出発できます。

この二種類の学習課程とは：

「二カ国語教育」

「新言語としての英語」(学校では ENL と呼ばれています)

一般的に、学校が提供できうる二種類の「二カ国語教育」課程があります。一つは「国語移行二カ国語教育」課程で、他は「単方向又は双方向二カ国語同時教育」課程です。

では「国語移行二カ国語教育」課程の特徴を見てみましょう。

「国語移行二カ国語教育」課程では、母国語あるいは第一言語で算数・数学や科学などの基礎教科の授業を受けている間、英語での会話と読み書きを学び、英語の理解力を高めます。

英語学習児童生徒が英語を習っている間、その児童生徒の母国語あるいは第一言語が基礎教科の授業で使用されます。

はじめは、授業の最低60%はその児童生徒の母国語あるいは第一言語で、残り40%は英語で行われます。

児童生徒が基準のレベルの英語に習熟し、英語単一授業へ移行できる準備ができるまで、英語での授業が徐々に増やされます。

この課程の最終目標は、最終的に堪能レベルになり、児童生徒が支援無しで英語単一授業を受講できる様になることです。

英語での学習時間が増加しても、児童生徒が二カ国語で会話ができるバイリンガルになる機会を創る為に第一言語あるいは母国語での授業が常に有ります。

お子さんを「国語移行二カ国語教育」課程に続けて参加させると決めた時は、学校に連絡して下さい。

では次に「単方向、又は双方向二カ国語同時教育」課程の特徴を見てみましょう。

「二カ国語同時教育」課程では、児童生徒が基礎学力を向上させる間、二カ国語に堪能な会話能力、二カ国語読み書きの能力、異文化能力を身につける機会を提供します。

「単方向二カ国語同時教育」課程では、同一の第一言語又は母国語や文化的背景を共有する児童生徒が二カ国語で会話能力を持つバイリンガル、もしくは多言語会話能力を持つマルチリンガルになる機会を与えられます。教員は英語と第一言語又は母国語で同時に授業を行いません。

「双方向二カ国語同時教育」課程では、英語が母国語である児童生徒と母国語でない児童生徒で構成されます。教員は二カ国語で授業を行ない、児童生徒は二カ国語に堪能な会話能力のあるバイリンガル、多国語のマルチリンガル、及び異文化能力を身に付けます。

「二カ国語同時学習」課程の大部分では、半分の授業は母国語あるいは第一言語で、残り半分は習得目標の言語で行われます。その割合は場合に依り変更します。例えば、90%—10%の場合では、大部分の授業は英語以外の目標言語で行われ、50%—50%になるまで増やします。

この課程で、児童生徒は二カ国語で会話及び読み書きの語学能力をつけ、他の文化について学ぶと共に、自己尊重と語学能力を発展させます。

ある研究結果によれば、「二カ国語同時学習」課程の児童生徒は英語と他の言語で同等かそれ以上の成績を上げています。

お子さんが、毎年春の州の語学能力テストで最高の語学習熟度に達しても、「二カ国語同時学習」課程に残ります。

これまで「二カ国語教育」について話してきましたが、今度はお子さんが同じように利用できる語学課程である「新言語としての英語」について見てみましょう。

「新言語としての英語」課程では、お子さんは色々な母国語の児童生徒と授業を受けます。そこでお子さんは：

- 英語の理解力、読み書きと会話を学びます。
- 科学、算数・数学、社会科、国語などの教科を英語で学びます。教員は、「新言語としての英語」の教育理論とその実践や、お子さんの英語教育の支援方法などについて訓練されています。

- 英語の習得に母国語あるいは第一言語を用います。

お子さんが、州の語学能力テストで「堪能」の習熟度に達した場合、この課程を終了し、英語単一授業を受けます。

**全ての「二カ国語教育」課程は「新言語としての英語」の授業を提供しています。これに留意することは重要です。**

お子さんが「英語に堪能」\* のレベルに達した後でも、更に2年間の支援を受けられます。

\* 「英語に堪能」は NYSESLAT テストで「統率」を意味しています。

「二カ国語教育」と「新言語としての英語」に関わらず、全ての語学課程ではお子さんに英語を教え、母国語あるいは第一言語を支援又は授業で用います。

もし現在登校している学校で希望の語学課程が提供されていない場合、学区内でその語学課程を提供している学校に転校を要請できます。総合学区内で提供されておらず、同一の母国語あるいは第一言語を使う児童生徒の数が学級編成の条件を満たす場合、総合学区は関連地域集団と協力し、語学授業を提供する責任があります。最低でも英語学習児童生徒は「新言語としての英語」課程の提供が義務付けられています。

ある研究によれば、語学授業を選んだ後、特に必要がない限りはその授業を変えるべきではありません。児童生徒がある一つの授業に変更しないで続けて出席した場合の方が、よい結果につながります。

多くの学校が追加の支援プログラムを提供しています。お子さんの学校に、英語学習児童生徒用の早朝や放課後の課外活動および夏期講習について、又は支援・補助の介入などの情報を求めてください。

お子さんの学校並びに総合学区は、学校並びに総合学区の教職員との連絡を良くする為、保護者に言語支援補助を提供する義務があります。もし必要であれば、通訳・翻訳を頼んで下さい。

保護者の方は自分自身が児童生徒の最大の擁護者であることを忘れないで下さい。自分の権利を知り、質問をし、資料・情報を取り、情報に基づく意思決定をして下さい。

お子さんは、高校を卒業し、大学進学や就職の準備となるような教育を受ける権利があります。

ニューヨーク州教育省は、お子さんの教育の将来について大切な判断をなされ最善となるように願っております。